

＼ご来場お待ちしております！／

第29回

日本臨床スポーツ医学会学術集会

2018.11.2(金) - 3(土)

札幌コンベンションセンター

詳しくは、ホームページをご覧ください。

酒井医療 学会

検索

国内初^{*} 拡散型ショックウェーブ^{**}

※クラスII医療機器として ※一般的名称 振動ヘッド付空気圧式マッサージ器

PHYSIO — Radial Shockwave —
SHOCKMASTER

ショックマスター

医療機器承認番号：22700BZX00105000

筋・腱の治療に特化

最短2~3分の治療時間

世界65カ国で使用



浅部、深部、広範囲に加えて
低出力超音波も発信できる超音波治療器。



PHYSIO SONO

フィジオ ソノ 超音波治療器 P-SONO

医療機器承認番号：230ALBZX00001000
管理医療機器（クラスII）・特定保守管理医療機器

関節・筋肉拘縮予防、
急性期の疼痛、浮腫の軽減に。



モバイル2CH独立Hi-Voltage

PHYSIO ACTIVE HV

鎮痛 筋萎縮改善 筋カトレニング フィジオ アクティブ HV

医療機器承認番号：227ALBZX00014000

「日常での治療における圧力波治療 (拡散型ショックウェーブ) 有効性と最新事情」

2018年 11月3日(土) 11:50 ~ 12:50

会場 第3会場 (1F 107+108)

座長 長尾 雅史 氏 (順天堂大学整形外科・スポーツ診療科・革新的医療技術開発研究センター)

演者 Mr. Bert Vrijder

欧州で普及している圧力波の機序と集中型ショックウェーブの違いを
最新の事例報告・研究論文を元に紹介する。

rSWT (圧力波) は世界中で数多く研究され、臨床応用されている。治療時に麻酔を必要とせず、正確なターゲティングが可能であるため超音波放出回数も少なく、付随して行う検査も非常に少ない為、費用対効果が高い。一方、治療する症状によっては、rSWTの方がEESWTと比較して多くの治療が必要になることもある。科学的アプローチにより、進化し続けている圧力波療法について紹介する。

セミナー内容 (予定)

- ・ 圧力波の機序と集中型とのエネルギーの違い
- ・ 代表的疾患での臨床報告
- ・ スポーツ現場での有用性・集中型に対する優位性
- ・ 拡散型での最新トレンドの紹介



Lecturer : Bert Vrijders
from Belgium

